



『チャレンジの時』

音羽台レジデンス施設長 西山

正徳

新年明けましておめでとうございます。今年も利用者様やご家族様にとって素晴らしい年になるよう祈念しております。

さて、音羽台では現在様々な取り組みがなされています。一つは「食べる力」推進プロジェクトです。年を取ると食が細くなるといいますが、これには日頃から嚥下機能や口腔機能のチェックや改善を行うことが重要です。歯科医師や歯科衛生士さん方のお力を借りて、看護師、栄養士、理学療法士、介護士の職員と共同でこうした取り組みを始めており、少しずつ改善が図られてきています。大きな一歩ですね。また、脳の認知機能は前頭葉の動きが低下することにより生じるという研究結果を踏まえて「学習療法」を開始しています。前頭葉を刺激して認知症を少しでも予防できたら良いと思います。

さらに介護の手助けを行うために「介護ロボット」の導入も計画しています(既に介護リフトは全ユニットに設置しています)。これによって、入居者の方々の移動の安全性や介護者負担の軽減が図られればと素晴らしいと思いませんか。

今、まさに音羽台は「チャレンジ」の時を迎えています。まだまだ

「行く年くる年 お餅つき」開催！

昨年の暮れに、家族会の皆様と職員で力を合わせ、餅つき会を開催しました。お餅とぜんざいを合わせて150人分！楽しく美味しく頂きました。入居者の方たちもお餅つき。今年は、手作り鏡餅の完成です！家族会の皆様と力を合わせて頑張りました。是非、皆様、月末の日曜日に行われる家族会に参加してみてください。住み心地の良い施設を一緒に作りましょう。



【今後の予定】

- 1月29日（日） 家族向け看取りの勉強会と家族会
- 1月29日（日） 音羽台 音楽フェスティバル

～編集後記～

明けましておめでとうございます。今年は挑戦と同時に深化の年にしたいと思っております。今年もよろしくお願いいたします。